

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

平成31年3月定例会での一般質問

塩 史子 元議員

広野駅のバリアフリー化を

バリアフリー化に取り組むとは、どこをどのように改善し、また、これからどこをどのように変えるのですか。

こ線橋と未来のかけ橋にエレベーター設置

駅構内こ線橋、未来のかけ橋にエレベーターを整備する設計を実施します。

エレベーター設置工事が着工されました

駅構内こ線橋、未来のかけ橋ともにエレベーター設置工事が着工されました。

工事は、駅構内こ線橋はJR東日本が実施し、未来のかけ橋は町が実施します。

未来のかけ橋の工事は今年度中に完成する予定です。



7人の議員が町政を問う

北郷 伯弘 P17

- まち・ひと・しごと創生総合戦略の実現に向けた取り組みについて
- 県立ふたば未来学園中高一貫校との連携について

黒田 政徳 P18

- 議員の発言について
- 行政用語の解釈について

阿部 憲一 P19

- 道の駅事業破綻の責任は
- 町長のパワハラについて
- 安全・安心の言葉遊びをするな
- ワクチン接種のリスクを広報せよ

渡邊 正俊 P20

- 東日本大震災から10年の総括と財政状況の見直しについて
- 令和元年10月の大雨の被災復旧状況と昨今の大雨災害への対応について
- 双葉地方町村会、福島県町村会の会長就任について

小磯 利雄 P21

- コロナ対策について
- 令和2年度決算について

遠藤 浩 P22

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止について
- 広野町通学路交通安全プログラムについて

畑中 大子 P23

- 新型コロナウイルス感染症の拡大について
- 農業とバナナ栽培について
- ゼロカーボンシティ宣言とIGCCについて

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いたすものです。

小中学校

未来学園との連携は

教育長／連携して指導力向上を目指す

北郷

県立ふたば未来学園中高一貫校とこども園、広野小学校及び広野中学校との連携について、どのような取り組みを行いますか。

教育長

学校教育活動の連携として、広野町教育委員会とふたば未来学園中学・高等学校が情報共有し、ICTを活用した授業の指導事例などを共有するとともに、「広野町学校保健委員会」において、小中高の子どもの健康についても情報を共有しています。ふたば未来学園教諭による授業・町立学校教諭との互見授業を実施し、授業の質的改善のため、互いの授業を見合い、意見交流をすすめる授業実践の場を確保しています。

5000人の町

実現への取り組みは

町長／地域の魅力最大限に高める

北郷

第2期復興・創生期間に入り、生活環境や産業、生活のための仕事の再生、継続的に支える人づくり、福島イノベーション・コースト構想の実現と復興創生の整備に続き、駅構内こ線橋及び未来のかけ橋へのエレベーター設置事業に着手したようです。まち・ひと・しごと創生総合戦略を掲げて、人口5000人の町づくりを実現するため、町としてどのように取り組んでいきますか。

町長

今後は、「若い世代が働く場があるまち」として、産業団地の造成、積極的な企業誘致、新規就業者の確保を目指し、高性能機械やICTを活用したスマート農業を推進します。「若い世代が安心して子育てができるまち」として、新たな視点から若者向けの住宅開発、子育て包括支援センターを中心とした子育て支援、※GIGAスクール構想に基づく魅力ある教育環境の整備、大学等との連携による人材育成に取り組めます。

復興拠点と位置付けた広野駅東側では、福島イノベーション・コースト構想の実現に向け、国際教育研究拠点を念頭に高等教育機関の誘致や先端研究の拠点化、スマートシティに向けた再生可能エネルギーの導入を進め、地域の魅力を最大限に高める施策を展開し人口5000人の町を堅持していきます。

※1人1台タブレット端末などにより最適な教育環境を実現する構想



きたごう みちひろ
北郷 伯弘 議員